

2005年月別走り込み

km

名前・月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
石井 繁貴	249	125	37	22	261	327	160	170				
	249	374	411	433	694	1021	1181	1351				
今仁 正義	173	212	136	168	370	170	165	156				
	173	385	521	689	1059	1229	1394	1550				
岡田 盛助	313	250	276	320	268	275	197	200	204			
	313	563	839	1159	1427	1702	1899	2099	2303			
芝本 鈴代	450	371	403	478	265	524	449	536				
	450	821	1224	1702	1967	2491	2940	3476				
出口 牧	460	450	450	450	20	550	580	240				
	460	910	1360	1810	1830	2380	2960	3200				
和田 年弘	237	211	200	189	146	304	84	121	184			
	237	448	648	837	983	1287	1371	1492	1676			
西野 盛隆	83	153	91	49	68	62						
	83	236	327	376	444	506						
堀池 一夫	204	182	127	113	126	105	138	100				
	204	386	513	626	752	857	995	1095				
宮下 哲	74	72	70	90	55	70	40	20				
	74	146	216	306	361	431	471	491				
西 和秀	45	50	66	80	110	88	80	100				
	45	95	161	241	351	439	519	619				
粟野原会長	50	50	70	60	110	80	80	80				
	50	100	170	230	340	420	500	580				
森野 卓也					110	100		70				
					110	210						

N0284

象南走り会

連絡先
象南スポーツ社
0724(83)4663

- 例会日
十月九日(日)
集合時間 九時
場所 種河神社
- 十月二十三日(日)
集合時間 九時
場所 種河神社

2. 大会結果

● 珠洲トライアスロン 八月二十一日

今回の大会は、会社のお盆休みとうまく重なり何時もなら大会前日の早朝に移動するところ、前々日の十時頃に家を出て西名阪から名古屋を通り飛騨高山へそして以前から行ってみたいと思っていた奥飛騨温泉郷の一つ平湯温泉に一泊し、翌日八時過ぎに旅館を出て奥穂高温泉に立ち寄り後は大会会場である珠洲市に向け富山、金沢と走り珠洲に付いたのが一時過ぎ、早々にバイク車検、説明会に参加後は、会場に出店しているトライアスロングッズを見てつい衝動買いをしたりしながら時間を過ごし、今夜の宿泊先へ。今回は、珠洲市内のランコースの前でチョットした料理屋と民宿を兼ねていてますまずのところで、他にも関東からの十数名の若いグループがいて結構上位入賞を狙っている様でした。翌日は三時半に起き四時に朝食を済ませ、五時過ぎにはスタート会場に行き最終チェックを受けバイクを組立てスィム、バイク、ランの準備をする。何か忘れ物が無いかな不安になり何度と無くチェック、後はスィムスタートを待つのみ。今年は殆ど波が無くコンディションとしては、言う事無し、スタートは一グループ百人で五分置きで四グループで、四百人余り。最初に参加した時は、千人近くいたが、ここの所参加者が減少している。トライアスロン競技はお金がかかるのは確かでバブルがはじけてからは、参加者が減っているのは間違いない。

私のスィムスタートは最後のグループで後ろから抜かれる事が無く気楽スタートすることができた。スィムを終えてタイムを確認すると四十八分台で自分でもチョットびっくりしながらバイクラックへ急ぐ、ここでバイクの残っている台数で、自分の順位のおおよその見当がつくが、まずまずの位置。素早くバイク支度をし、スタートとする。今日の暑さがどうなのか気になるが思った通り時間が経つにつれ気温が上昇していた。しかし、今回もバイクの練習が殆ど出来て無くやはり二周目の大谷峠(約三〇〇m)越えではバイクを降りる事は無かったもののヘロヘロになりながらも何とか峠越えが出来無事バイクを終えてランへと入る。いつもながら思うように走れず前に進まないが、とにかく止まるのだけはさけて走る。ランのスタートから五キロくらいまでは、ショートタイプのランナーと一緒に走るため結構追い越す事もあり励みになっていたが、五キロ過ぎてからはランナーの姿が殆どなく、やはり参加者の少なさを物語っていて寂しい限りである。そんなこんなで何とか歩く事無く残り三キロ地点になると、雨も本降りになってきたが、コンディション的には良く、このままで行けば目標の七時間半は切ることが出来るかと確信し、結局少し歩いてしまったが、何とか完走することができた。初めてこの大会に参加した時のタイムが六時間四十五分台で、このタイムを五十代まで維持できれば年代別で上位入賞も夢では無いと思っただけを思い出し、あれから十年目となる今回は、七時間二十四分台のタイム、十年で四十分遅くなってしまう。これが現実であり仕方ない事と思いつつも半分は良く頑張った方かなと自分に言い聞かせた。後日インターネットで大会の結果を見ると、五十才から五十九歳の年代別で二位の成績であることを知り自分で感激した。しかし、珠洲大会は年代別の表彰は一位のみでありちよっぴり残念でしたが、少し自分に自信が戻った今年の珠洲大会であった。

3. 大会案内

● 和歌山城・高野山ウルトラマラソン 十月十六日

今年も昨年同様和田さん、森野君、岡田の三人が走ります。尚、スタート時間は和田さん、森野君は、十二時スタート、岡田は昨年より一時間早い三時としました。又、同じ日に四万十ウルトラマラソンも行われ此方には、今仁さんと徳山さんが参加されます。

● 貝塚八時間耐久リレーマラソン 十月三十日

今年も泉南走ろう会として参加を申し込んでおります。スタート時間は、八時三十分です。直接会場にこられる方は八時頃に集合してください。又、泉南から参加される方は新家駅に七時三十分に集合して頂ければ車があります。但し私を入れて六名ですので予め御連絡願います。

お詫び

九月号の機関誌発行が、随分遅れてしまい申し訳ありませんでした。